

文化ビジネス通信

2年目の今年は、1年目よりさらなる飛躍を目指し、地域の魅力をビジネスにつなげ、世界にも発信します。

Facebookにて「長野県諏訪実業高校文化ビジネス教育」の情報発信中です。

平成29年7月12日
長野県諏訪実業高等学校
SPH通信



3年課題研究の取組

2年生の昨年はグループに分かれて諏訪地域のことを学習しました。今年度の商業科・会計情報科の3年課題研究では、実際に地域に出て諏訪地域の学習を深めました。今回は、6月までに調査・研究した内容についての発表会が開かれましたので報告します。

課題研究発表会

6月30日・7月3日の2回に分けて発表会をおこないました。

全部で11グループの発表がありました。今年力を入れたことは、ネット上で調べてそれだけで発表するのではなく、実際に地域に出て調査することと、成果物としてパンフレットを作成しようとしたことでした。

◆諏訪の温泉を調査

諏訪湖周辺の温泉のあるホテルに実際に調査に行き、ホテルの方にインタビューをしてそれぞれのホテルのパンフレットを作成しました。また、高校の視点から見た周辺の地図を手書きで作成しました。それぞれのホテルにパンフレット・地図は置いていただく予定です。

◆上諏訪商店街活性化を提案

上諏訪商店街活性化について高校生の視点から提案しました。高校生も参加しながら地域でイベントが実施できないかと考えています。今後、12月2・3に実施される販売実習・キッズビジネススタウンの総称「諏実タウン」で少しでも今回の研究を実現できるようにしていきたいと思っています。



生徒の感想

- ・実際にお店の人にインタビューをすることができ、良いスライドとパンフレットができたと思います。諏訪についてさらに深く知ることができ、とても良い学習時間になりました。
- ・実際に街に出て、当事者であるお店の人に話を伺うことでわかることがあるんだと思った。
- ・グループの他の人と協力して作業ができて良かったと思います。もう少し自分で考えて行動できたら良かったと思いました。
- ・スライドの作り方によって伝わり方が違うことを、それぞれのグループの発表を聴いて思いました。同じ題材を発表していても全然違うと思いました。また、声の大きさ、話し方も大切だと思いました。